

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

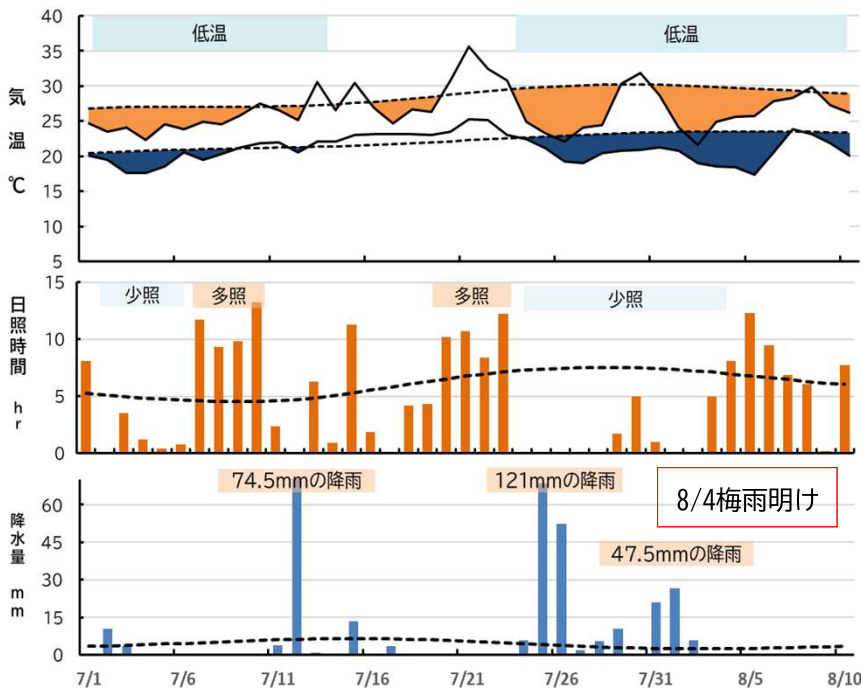


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。

・日照時間は平年比76%と少なくなりました。

・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。

・日照時間は平年比78%と少なくなりました。

・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。

また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】 10 20 70

【降水量】 40 30 30

【日照時間】 30 40 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目 10 40 50

2週目 10 20 70

3～4週目 10 20 70

■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/m ²)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/m²と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

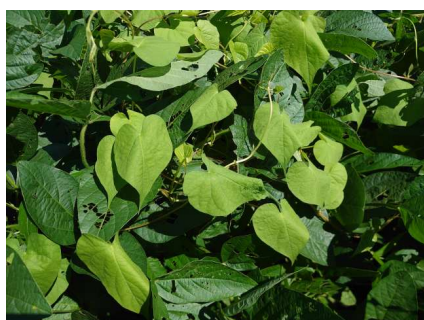


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

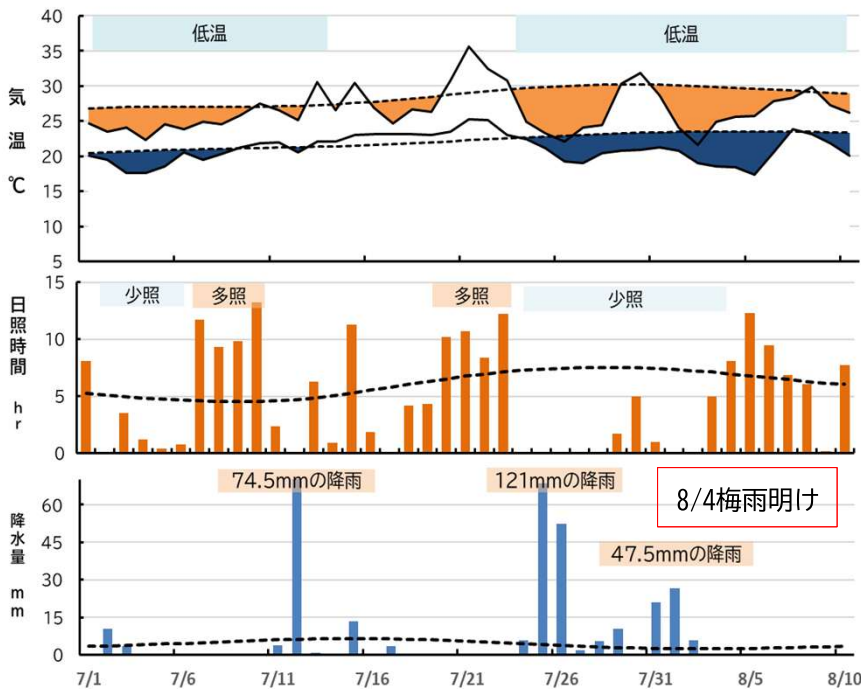


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。
- また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/㎡)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/㎡と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

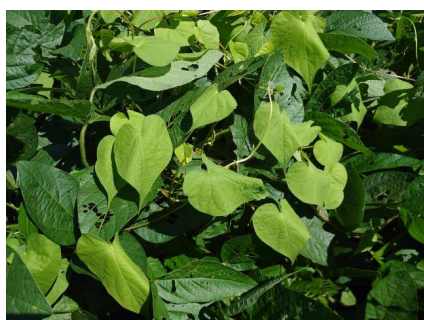


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

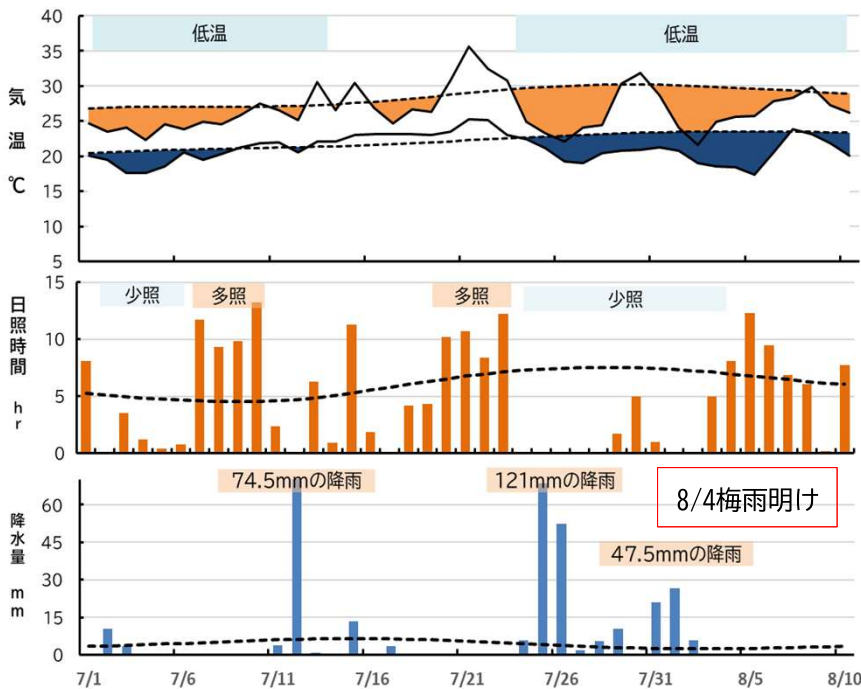


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。
- また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/m ²)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/m²と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

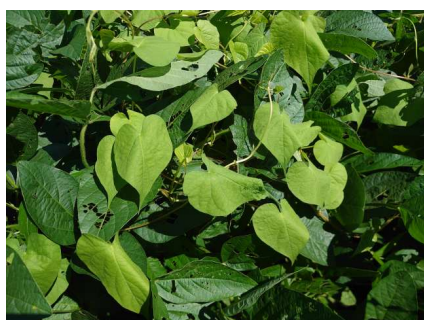


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

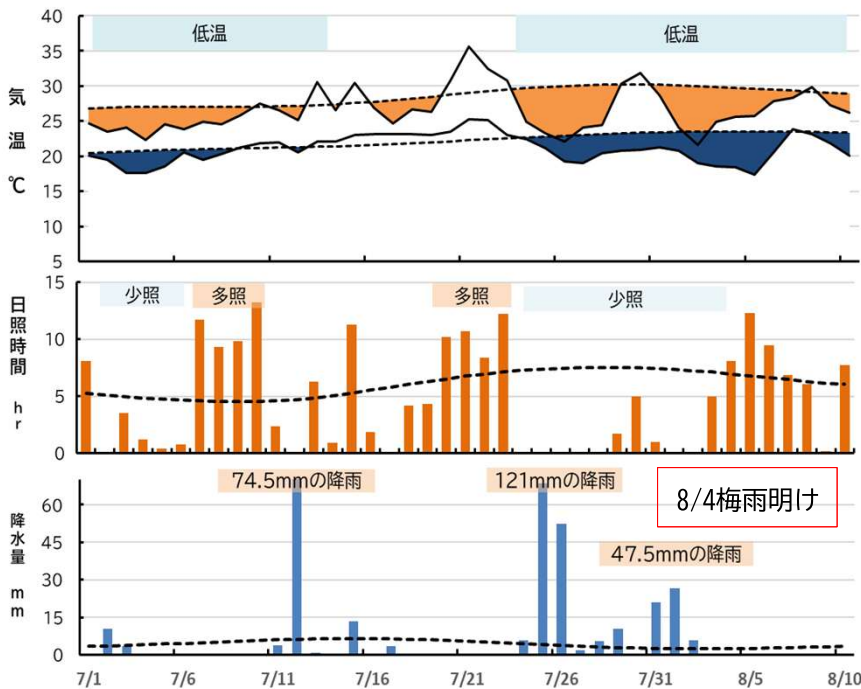


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- 平均気温は平年より -0.9°C 低くなりました。
- 日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- 降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- 平均気温は平年より -3.3°C 低くなりました。
- 日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- 降水量は平年比172%と非常に多くなりました。また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/㎡)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/㎡と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

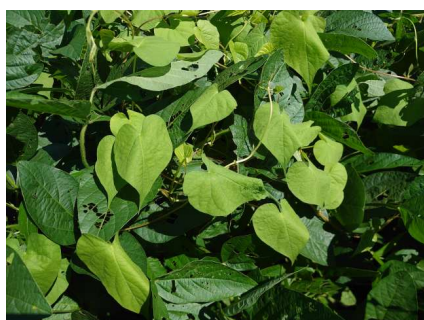


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

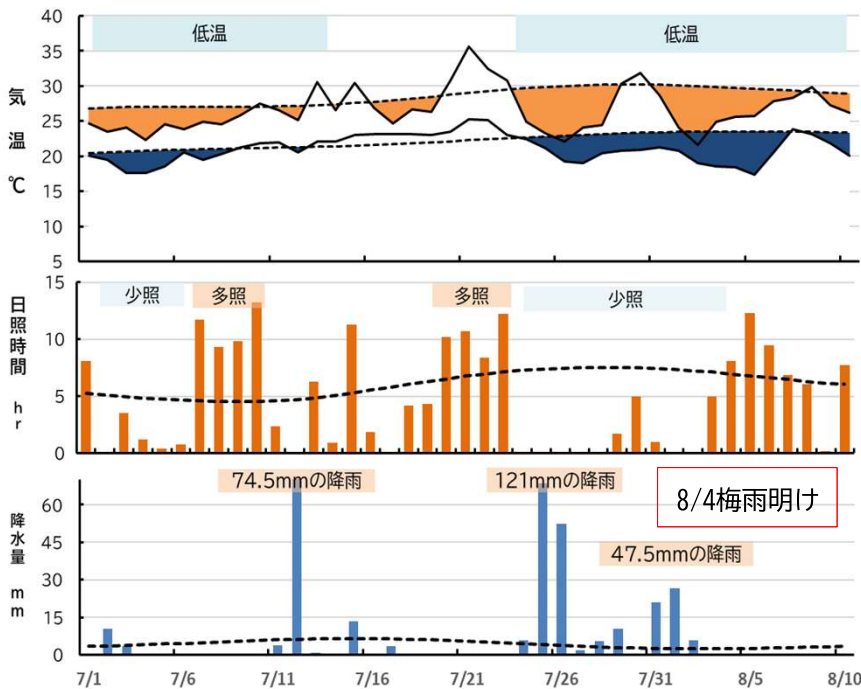


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。
- また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/m ²)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/m²と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

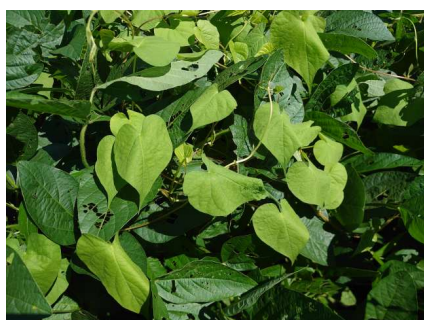


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

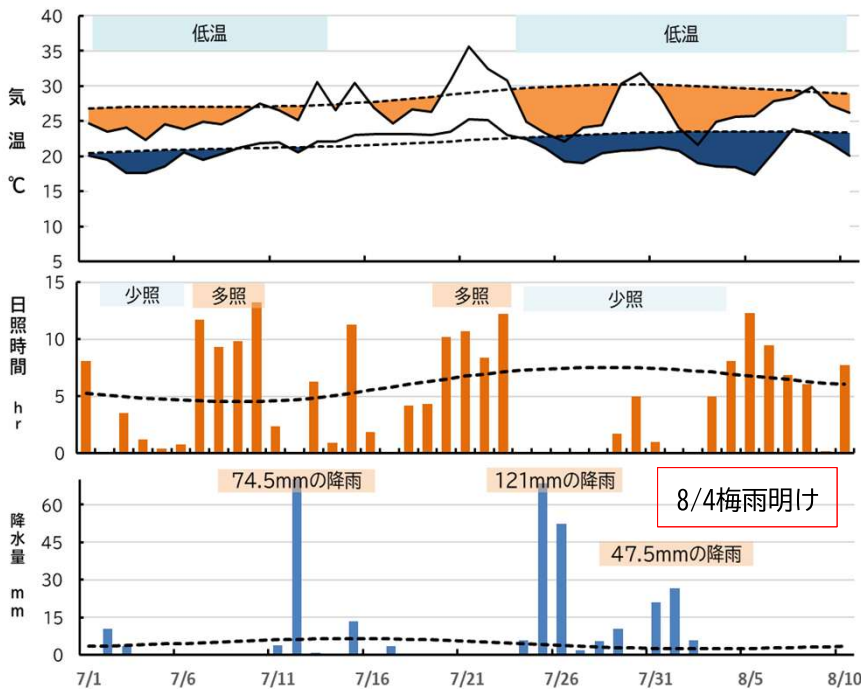


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/㎡)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/㎡と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

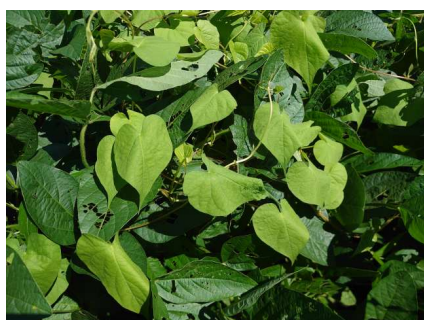


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

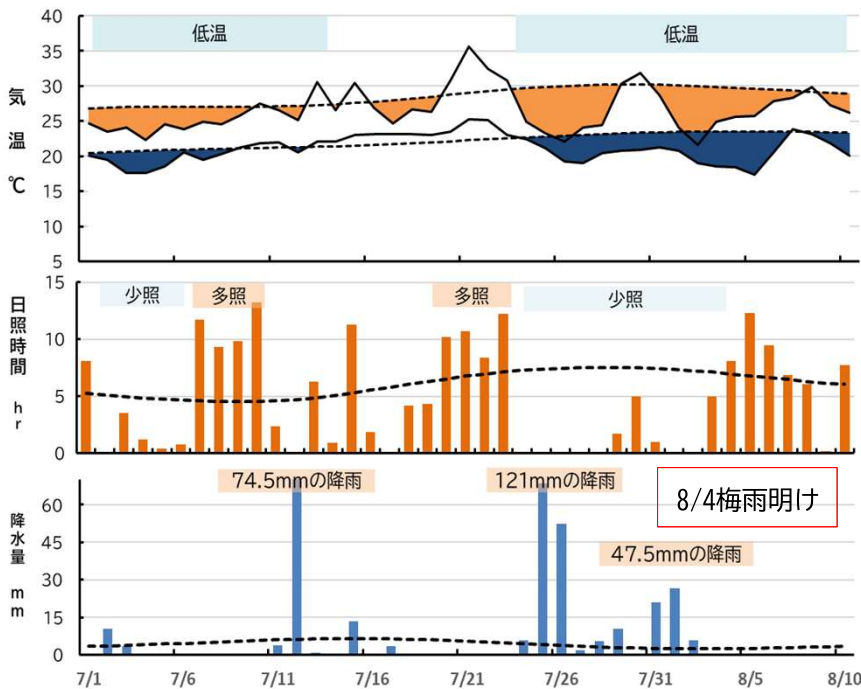


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。
- また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/m ²)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/m²と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

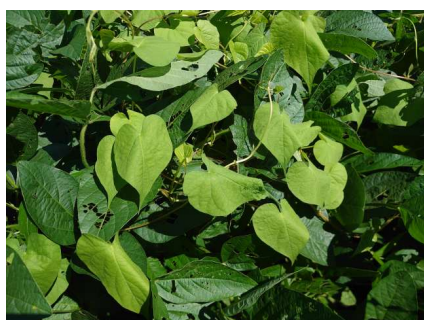


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

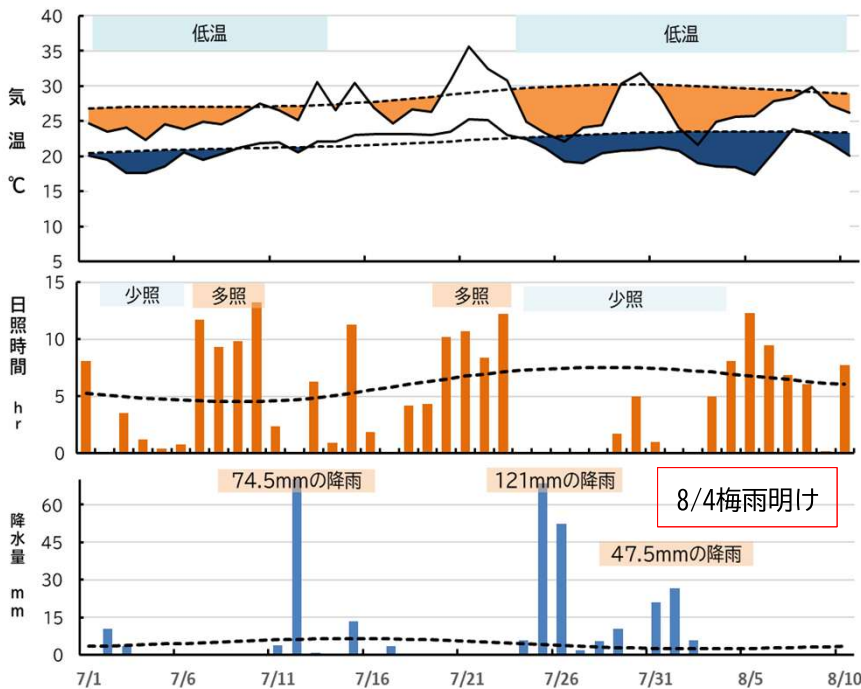


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。
- また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/m ²)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/m²と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

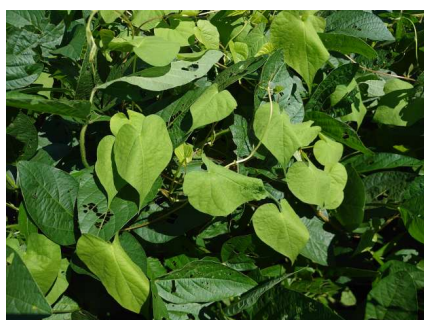


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

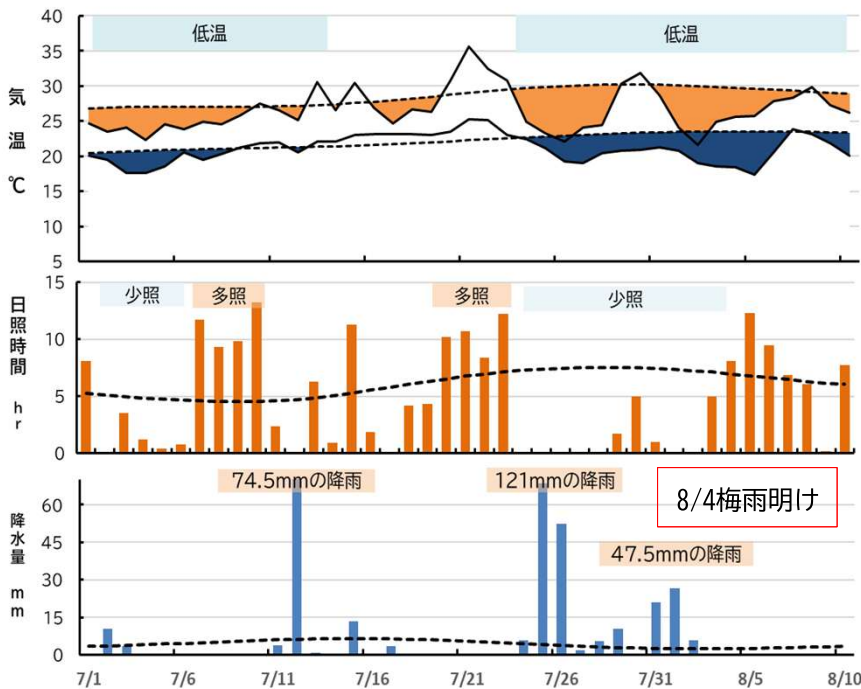


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
 - ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
 - ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。
- また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/m ²)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/m²と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

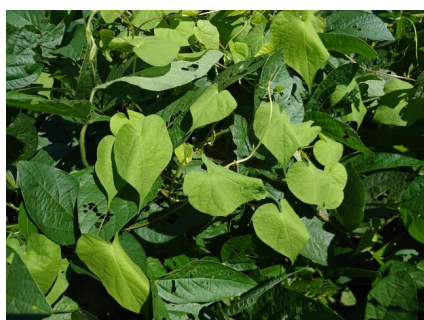


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

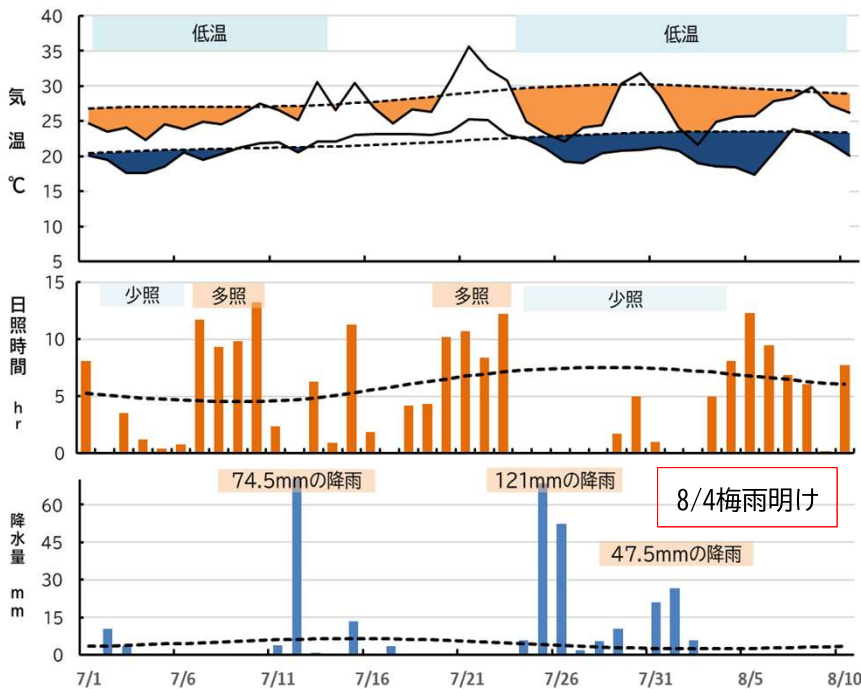


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- 平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- 日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- 降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- 平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- 日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- 降水量は平年比172%と非常に多くなりました。また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	低い(少ない)	平年並	高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	低い	平年並	高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28
3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/m ²)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

- ◆開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。
- ◆主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。
- ◆主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。
- ◆分枝数は、14.4～29.5本/m²と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

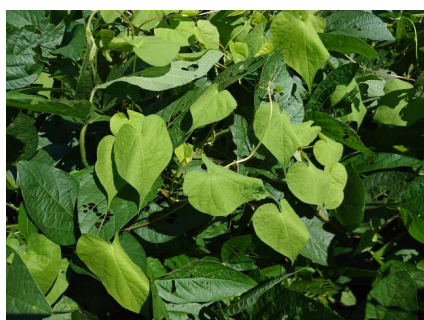


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

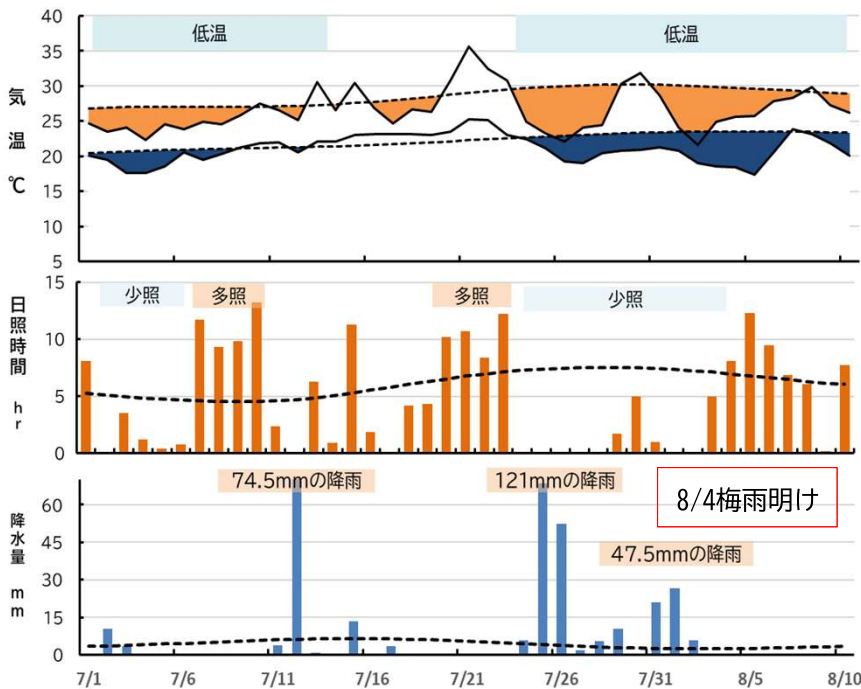


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。
- また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/m ²)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/m²と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

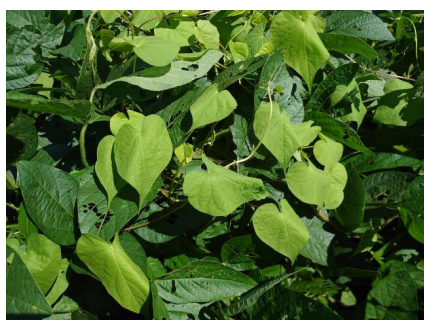


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

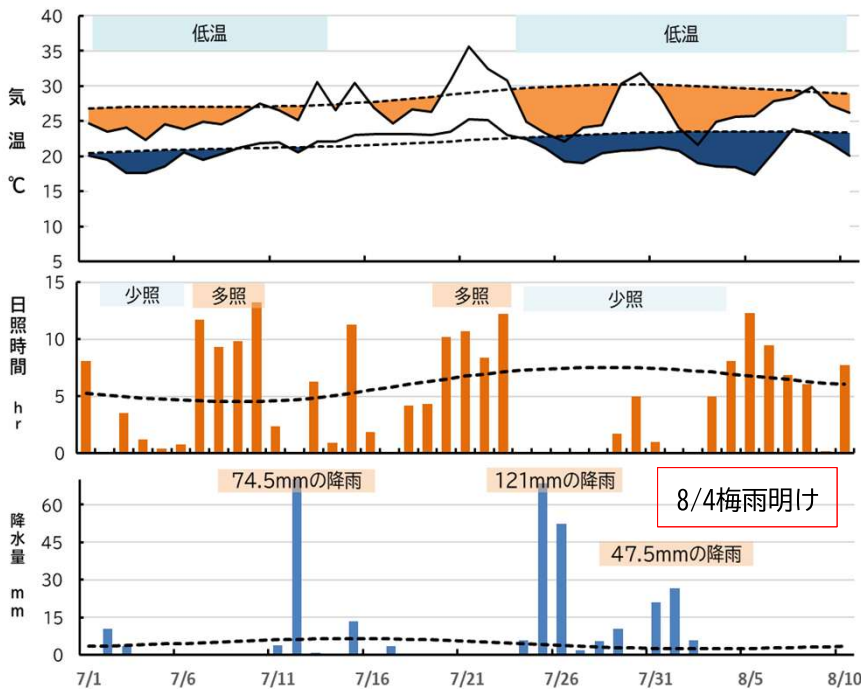


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。
- また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/㎡)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/㎡と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

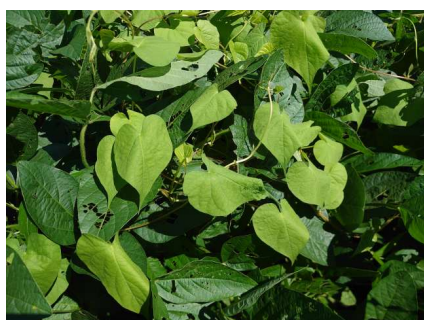


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

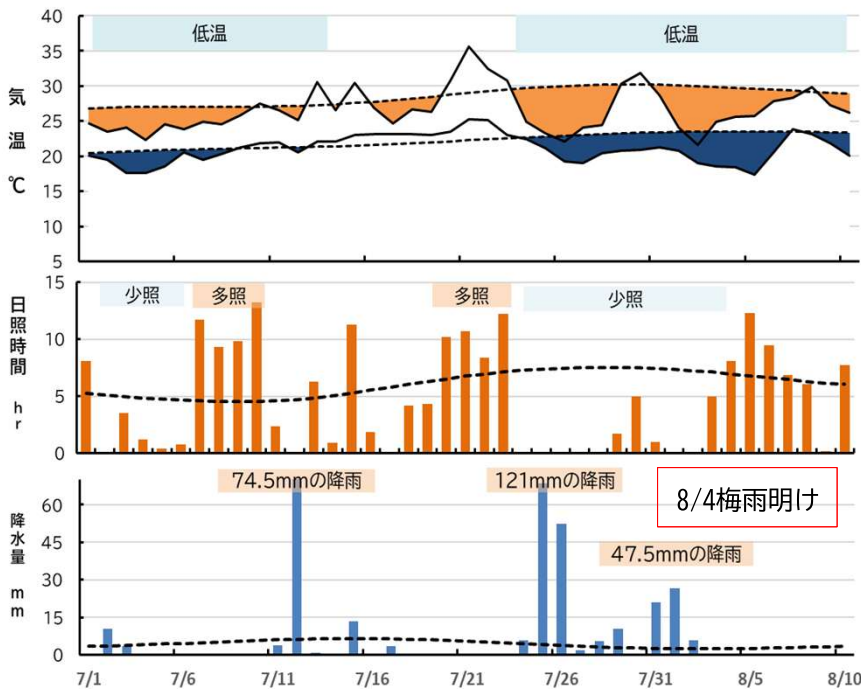


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- 平均気温は平年より -0.9°C 低くなりました。
- 日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- 降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- 平均気温は平年より -3.3°C 低くなりました。
- 日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- 降水量は平年比172%と非常に多くなりました。また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/㎡)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/㎡と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

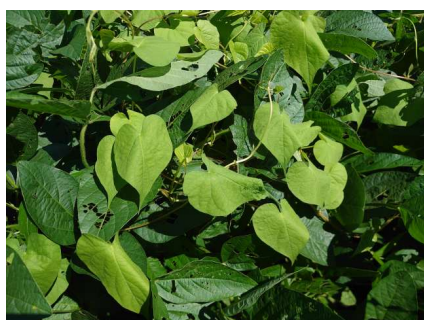


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

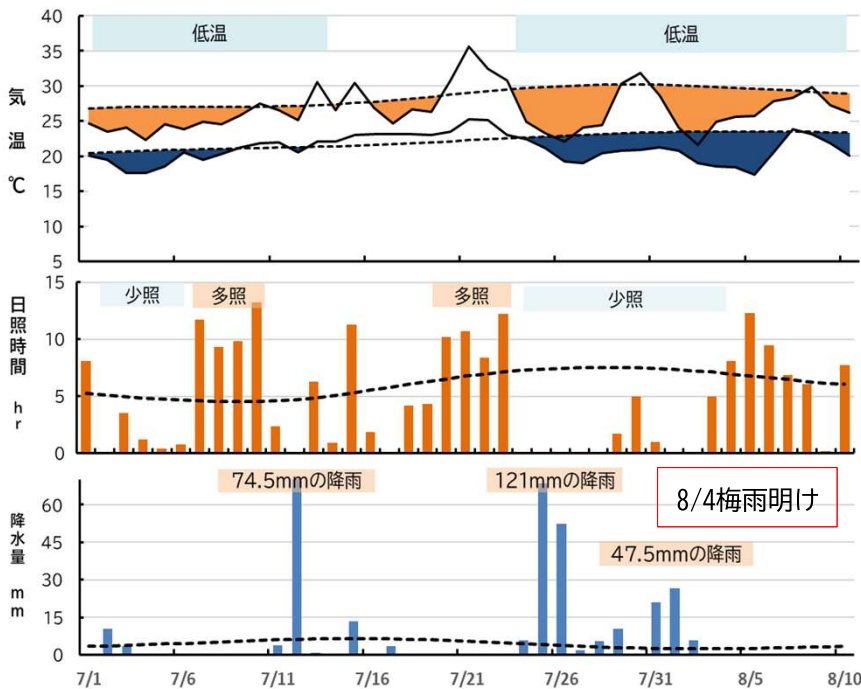


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- 平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- 日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- 降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- 平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- 日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- 降水量は平年比172%と非常に多くなりました。また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/m ²)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆分枝数は、14.4～29.5本/m²と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

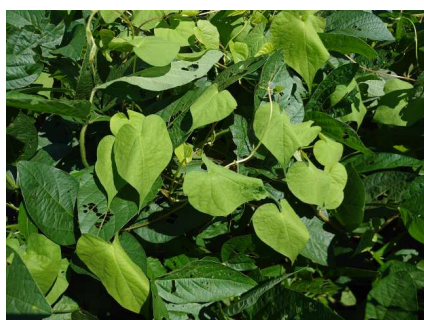


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上

令和8年産 大豆情報 (Vol.2)

令和8年8月19日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612

Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからもご覧いただけます！



今後のポイント: 排水対策の再点検、病虫害・雑草防除、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

7～8月の気象経過と一か月予報

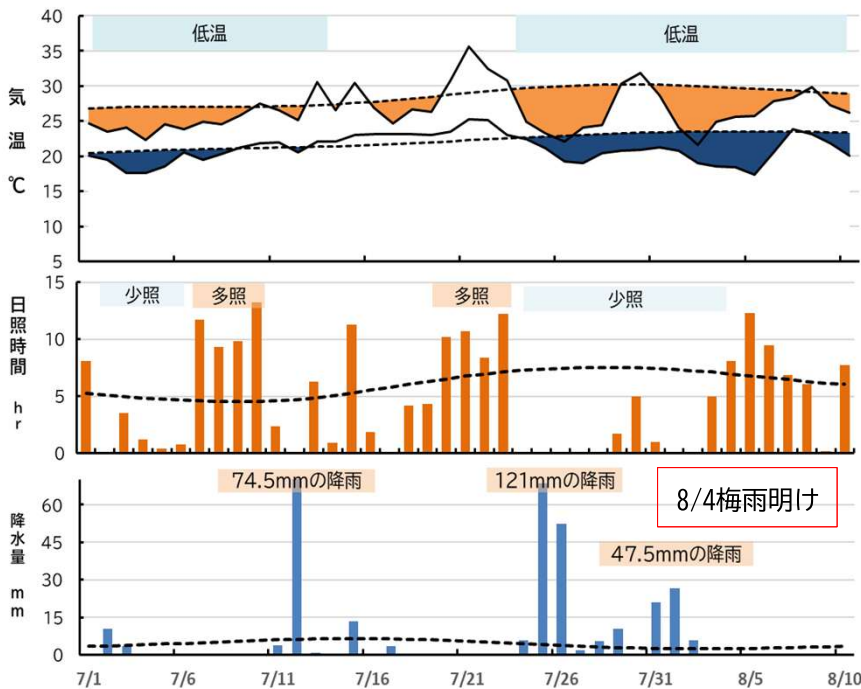


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量

※点線は平年値(過去5年平均)

◆7月

- ・平均気温は平年より-0.9℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比76%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比185%とかなり多くなりました。

◆8月上旬

- ・平均気温は平年より-3.3℃低くなりました。
- ・日照時間は平年比78%と少なくなりました。
- ・降水量は平年比172%と非常に多くなりました。また、8/4に平年より11日遅く梅雨明けしました。

◆向こう1か月予報(8/15～9/14)

仙台管区气象台8月13日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】	10	20	70
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30
	■ 低い(少ない)	■ 平年並	■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	10	20	70
3～4週目	10	20	70
	■ 低い	■ 平年並	■ 高い

1週目: 8/15～21、2週目: 8/22～28

3～4週目: 8/29～9/11

生育調査(8月7日)結果

表1 8月7日生育調査

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			開花期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			分枝数(本/㎡)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	須江 (河南)	6/11	-5	-3	8/02	+5	+5	46.4	-31.5	-23.8	12.9	-2.0	-2.0	2.0	-0.4	-0.5	25.8	-4.5	-8.1
すずみのり	蛇田 (石巻)	7/01	+24	-	8/07	+13	-	28.2	-20.8	-	8.1	-4.6	-	0.8	-1.3	-	14.4	-12.3	-
ミヤギシロメ	小船越 (河北)	6/12	-5	+3	8/06	+1	+1	47.4	-7.2	-23.7	11.2	-3.0	-2.5	1.4	-2.7	-1.3	16.1	-15.4	-14.2
	大曲 (矢本)	6/17	-15	-	8/10	+3	-	49.5	-38.0	-	11.9	-3.6	-	2.5	-0.3	-	29.5	-4.3	-

※1 平年差: R2～R7の平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 蛇田すずみのり、大曲ミヤギシロメは、令和7年産から調査開始のため、平年差はない。

◆ 開花期は、河北のミヤギシロメで平年並、その他のほ場で前年・平年より3～13日遅くなりました。

◆ 主茎長は、28.2～49.5cmと、全てのほ場で前年・平年より短くなりました。

◆ 主茎節数は、8.1～12.9節/本と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

◆ 分枝数は、14.4～29.5本/㎡と、全てのほ場で前年・平年より少なくなりました。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って明きよ・落水口につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 8月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため早めの除草が必要です。
- ◎ 特に、タデ類、アメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草や、アレチウリ、帰化アサガオ類などのつる性雑草は、収穫作業に重大な障害を及ぼし、減収や汚粒など品質低下の原因になります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。



タデ類

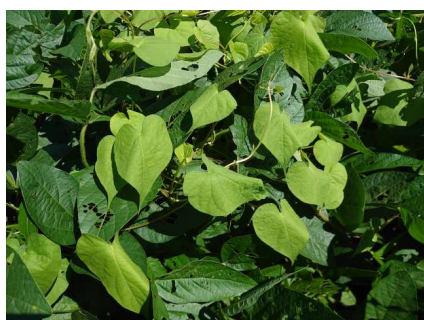


シロザ



イヌホオズキ

- ◎ 一部の除草剤では「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した畦間(・株間)散布が可能です。散布方法や使用時期(収穫前日数)などが異なるため、使用の際は最新の登録内容を十分確認しましょう。
- ◎ ほ場に落ちた雑草種子の多くは湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。
- ◎ 帰化アサガオ類などの難防除雑草が多発生したほ場で、次作以降に大豆を作付けする場合には、有効な土壌処理剤の利用(一例:QRコード参照)及び体系防除を検討しましょう。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ類



宮城県「普及に移す技術」第99号
トリフルラリン乳剤の大豆播種前全面土壌混和
による帰化アサガオ類の初期防除効果の向上